

令和7年10月6日

東庄町教育委員会 様

東庄町学校運営協議会

学校運営協議会活動状況報告書

東庄町学校運営協議会の運営に関する要綱第8条の規定により、令和7年度の活動状況を下記のとおり報告します。

記

1 活動状況

（1）協議会の開催

回	日 時	人数	主な議事、活動
2.5	令和7年10月5日 13:30～16:00	67	・第2回協議会の振り返り ・2040年の東庄町を考える ・熟議、発表

（2）協議会から出された主な意見

- 「夢中になっているもの」「夢中になっているとき」「心が踊るもの」「心が躍るとき」はどんなときかを考える。「学ぶ・暮らす・遊ぶ・働く」の観点でまとめる。
- 「心が動く」ためにできることを考える。こども園、小・中学校でできること。
 - ・体験活動の充実（仕事体験、文化体験、放課後の過ごす場）
 - ・学びたい気持ち（の延長で）→体験（活動を入れて学びの充実を図る）
 - ・新しい施設（道の駅の新設）→同じ興味のある人がつながるチャンス
→暮らす、働く、学ぶ、遊ぶの拠点
 - ・ふるさと教育（町を出た、離れた人と住民のギャップ、子どもと大人のギャップ）
学習で心は動いていた→学んだ後に体を動かす（神楽に誘ってほしい）
 - ・「地域部」部活の紹介
 - ・ふれあい祭りで中学生のお店バザー→縦割りで大人も子どもも働くことを学ぶ
 - ・東庄町のイベントに参加して、働く大人の姿から学ぶ（季節ごとのイベント企画）
 - ・子ども議会の充実（自分の地域のことはこれからの人が考える）
 - ・小中一貫教育（小学校と中学校が近く of 場所になることによる交流）
 - ・ホンモノにふれる（美術・芸術・技術）
 - ・ドローンを授業の中に（操作、活用、運用、これからの未来）

2 その他

- ・第3回東庄町学校運営協議会は、令和8年2月6日（金）午後を予定

※各回の会議録及び会議資料を併せて提出すること。